



中澤木材株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日)



長野県駒ヶ根市発注 本曾倉線

作成日： 令和6年7月10日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

環境経営方針

＜環境経営理念＞

中澤木材株式会社は、建設業を営むものとして四季様々な景観を持つこの中沢の恵まれた豊かな自然を保全し、次の世代へ残していくために、全社員が自主的・積極的に環境保全への取組を推進します。

＜環境保全への行動指針＞

- 1． 環境関連の法令及びその他の協定事項を遵守します。
- 2． 省エネルギー・省資源に努め、二酸化炭素の削減や水資源の保全に取組ます。
- 3． 廃棄物の削減やリサイクルに努め廃棄物の適正処理に取組ます。
- 4． 環境に配慮した工法・資材の提案、設計に取組ます。
- 5． グリーン購入に取組ます。
- 6． 化学物質使用量の削減に取組ます。
- 7． 持続可能な社会を目指し勿体ない精神で再利用、再使用に取り組みます。
- 8． 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日： 2023年7月1日

代表取締役 矢沢 弘幸

口組織の概要

更新日：2023年6月30日

- (1) 名称及び代表者名
 中澤木材株式会社
 代表取締役社長 矢沢 弘幸
 資本金：2000 万円
 法人設立年月日：昭和21年1月25日
- (2) 所在地
 本 社 長野県駒ヶ根市中沢4117番地
 資材置場 長野県駒ヶ根市中沢10590番地1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 代表取締役 矢沢 弘幸 TEL：0265－83－3715
 担当者 事務部 大林 加奈子

- (4) 事業内容
 総合建設業：土木、建築、とび・土工、水道施設、管工事、舗装
 産業廃棄物収集運搬業：平成13年12月18日新規登録
 保有車両台数ダンプトラック4台・軽ダンプ2台・ユニックレン1台
 許可番号：200308250号 令和3年12月18日更新 積替保管無
 許可期間：令和3年12月18日～令和8年12月17日まで
 事業の範囲：廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物・水銀使用産業廃棄物を含む）紙くず
 木くず、ゴムくず、金属くず（水銀含有を含む）、繊維くず、ガラスくず・コンクリート
 くず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物・水銀使用産業廃棄物を含む）がれき類（石綿
 含有産業廃棄物含む）（廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、
 自動車等破砕物を除く）
 産業廃棄物実績： 令和5年7月～令和6年6月

産業廃棄物排出量（自社分のみ）

産業廃棄物の種類	排出量	マニフェスト
コンクリート殻・アスファルト塊	506 t	81 枚
木くず	206 t	85 枚
繊維くず	- t	- 枚
石膏ボード	0.4 t	1 枚
ガラス・陶器くず	0.06 t	2 枚
廃プラスチック	0.6 t	3 枚
汚泥	200 t	1 枚
金属	4.8 t	- 枚
混合廃棄物	5.1 t	6 枚

- (5) 事業の規模

売上高 279,211 万円

	本 社	資材置場	合計
従業員 名	10 名	0 名	11
延べ床面積 m ²	264 m ²	1303 m ²	1567

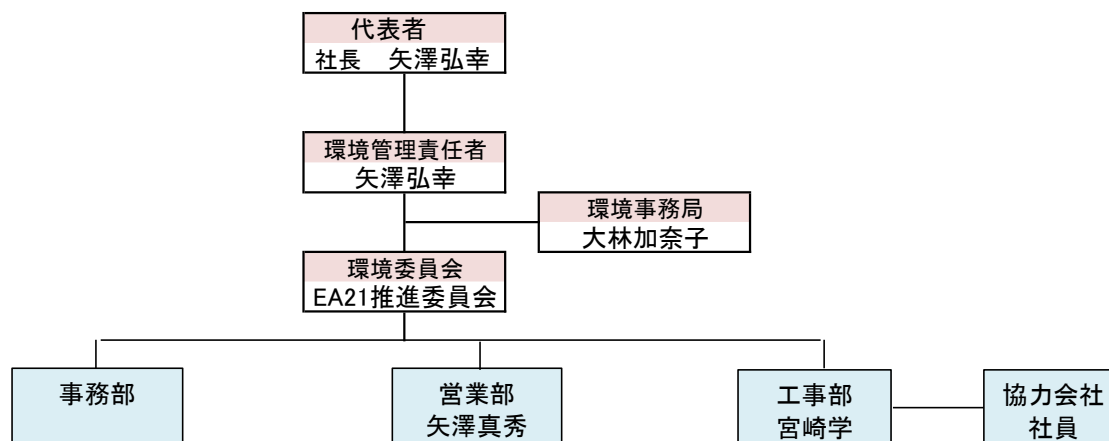
- (6) 事業年度 7 月 1 日 ～ 6 月 30 日

口認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：中澤木材株式会社
 対象事業所：本 社
 資材置場
 対象外：なし
 活動：総合建設業：土木、建築、とび・土工、水道施設、管工事、舗装

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長) 環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境管理責任者・環境事務局・部門長で構成し2か月に1回及び必要に応じて管責任者が招集する。 ・二酸化炭素排出量、産業廃棄物、総排水量、化学物質、グリーン購入などに工事現場ごとの取り組み、問題事項を取り上げ、対策について協議を行う。
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト訓練を実施、記録の作成 ・各部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		94,092	101,238
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		126	109
産業廃棄物排出量	kg		338,445	723,087
産業廃棄物（建設副産物）				
発生量	kg		0	718,662
発生抑制量			0	0
再生利用量			0	718,662
再資源化実施率	%		1	1
総排水量	m ³		49	37

※二酸化炭素排出係数 0.431 kg-CO₂/kWh 中部電力(2022年度)の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

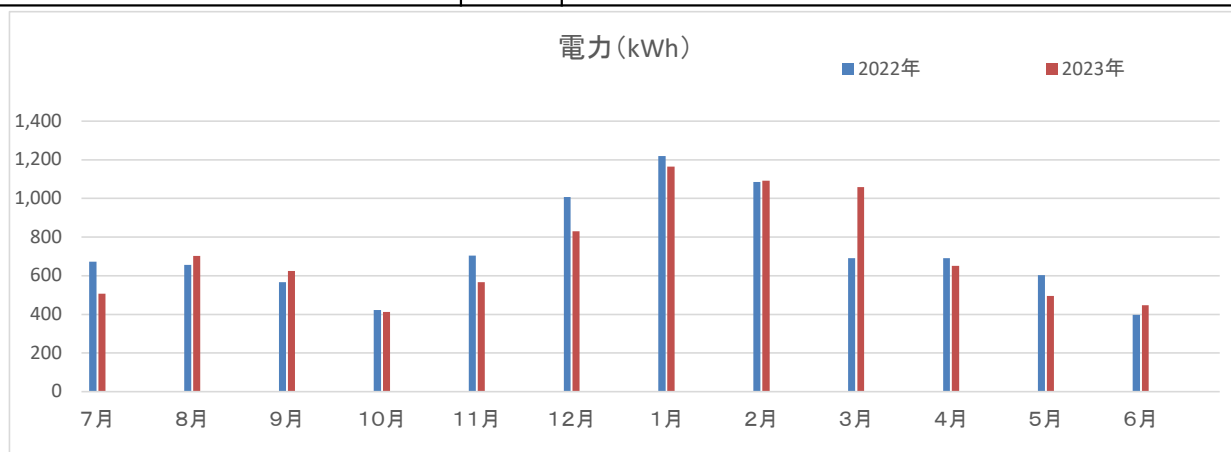
年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,844	3,806	3,683	○	3,767	3,729
	基準年度比	2022年	99%	96%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	46	45	43	○	45	45
	基準年度比	2022年	99%	94%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,558	6,493	3,817	○	6,427	6,362
	基準年度比	2020年	4544%	58%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	83,666	82,829	93,695	×	81,992	81,156
	基準年度比	2022年	99%	112%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	94,114	93,173	101,238		85,804	84,929
一般廃棄物の削減	kg	126	123	109	○	123	122
	基準年度比	2022年	98%	87%		98%	97%
産業廃棄物（混合）の建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	49	48	37	○	47	46
	基準年度比	2022年	98%	76%		96%	94%
化学物質適正管理			適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
グリーン購入の推進（オフィス用品G購入率）			適正購入	適正購入	○	適正購入	適正購入
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

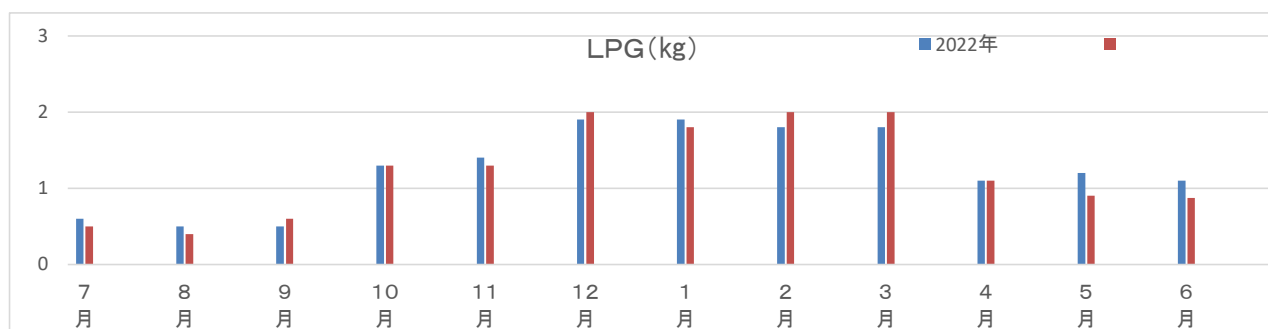
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	断熱塗料を使用した外壁塗装、窓ガラスのペアガラス化を行ったが、夏場はあまり効果が無かった。冬場については概ね効果があったと考えています。冷暖房温度の徹底等より一層啓蒙を図っていきたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		
・不要照明の消灯		
・使用以外のIT関連機器の電源OFF		
・エアコンフィルター定期清掃		



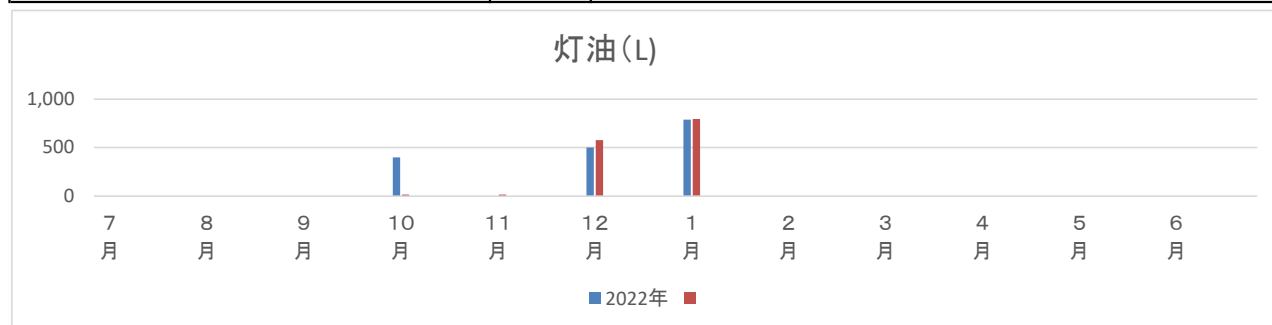
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	672	656	565	422	704	1,006	1,218	1,085	691	691	603	397
2023年	506	702	624	412	566	829	1,165	1,091	1,059	650	494	447

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標に達しない月があったが、総量ではクリアできた。引継ぎ温水器の使用について徹底していく。
温度の管理		
・		



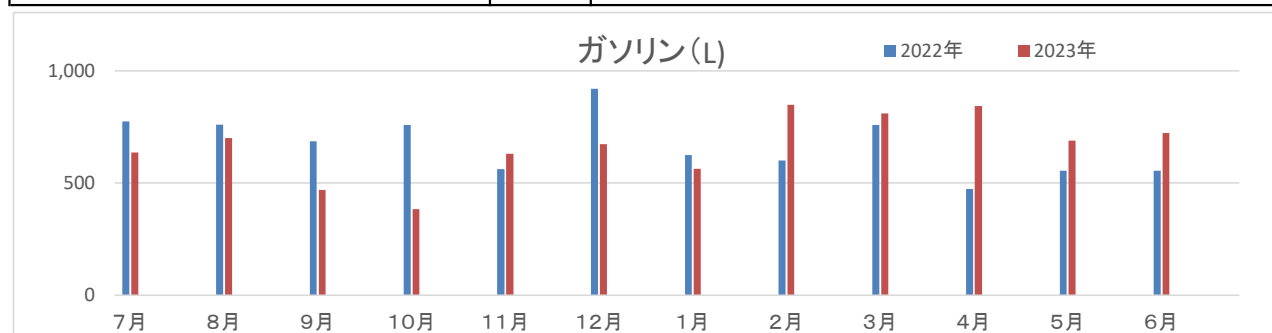
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1
2023年	1	0	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エネルギー効率の良いエアコンに更新した為総使用量が現書した。引続き温度管理を徹底したい。
ファンヒーターの適正な温度設定		

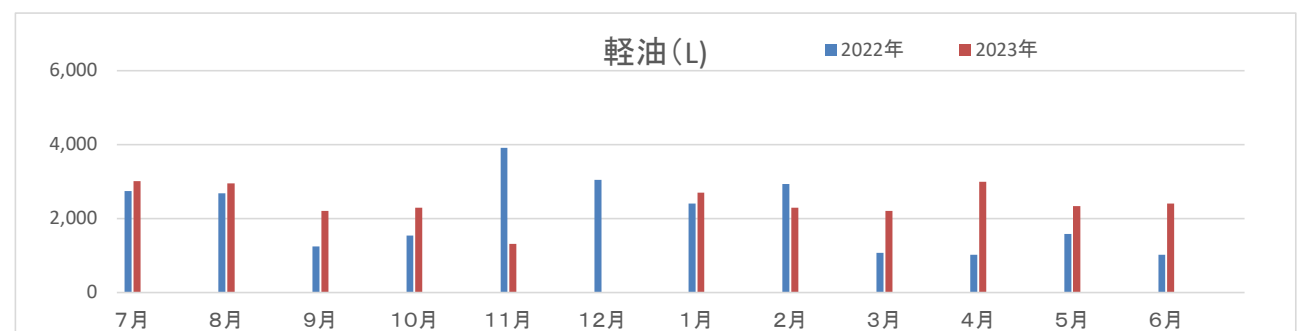


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	0	0	0	400	0	499	787	0	0	0	0	0
2023年	0	0	0	18	18	576	795	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	自社所有機械に加え、リース機械を使用することにより燃料の使用量が増加した。アイドリングストップ等により無駄な消費を無くしていくよう指導する。
・アイドリングストップ		
・急発進・急停車を控える ・法定速度遵守		

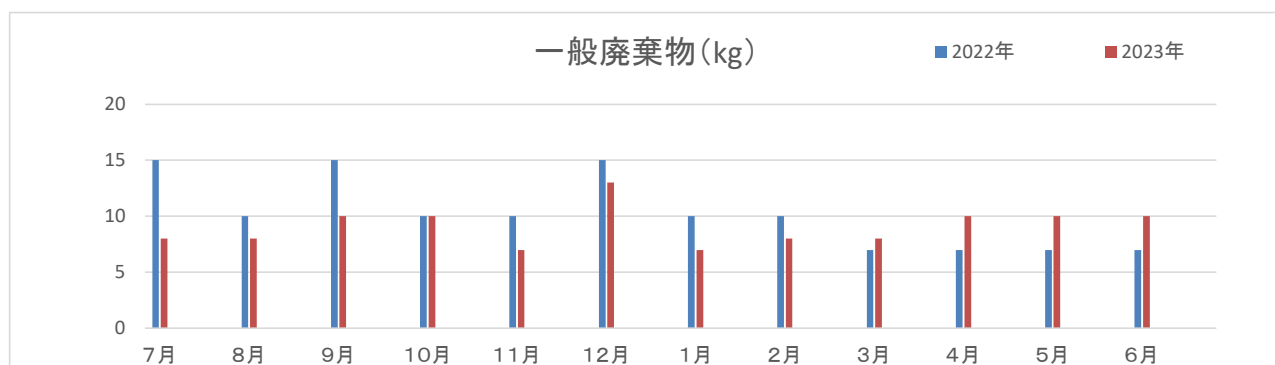


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	775	760	686	758	562	919	624	601	759	474	554	554
2023年	635	700	469	384	631	673	564	849	810	843	689	724



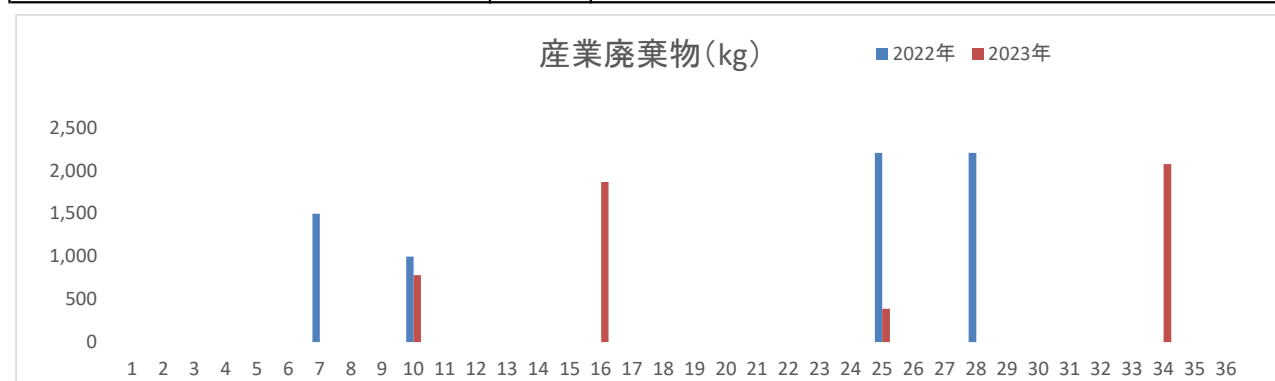
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	2,745	2,681	1,244	1,535	3,914	3,042	2,405	2,936	1,074	1,023	1,585	1,026
2023年	3,013	2,957	2,209	2,297	1,313	0	2,704	2,297	2,210	2,996	2,334	2,401

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	総量で削減を図ることが出来た。引き続きペーパーレス化に取り組んでいきたい。
・ 分別の徹底		
・ 帳票見直しによる印刷物の削減		
・ 梱包材の再利用		



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	15	10	15	10	10	15	10	10	7	7	7	7
2023年	8	8	10	10	7	13	7	8	8	10	10	10

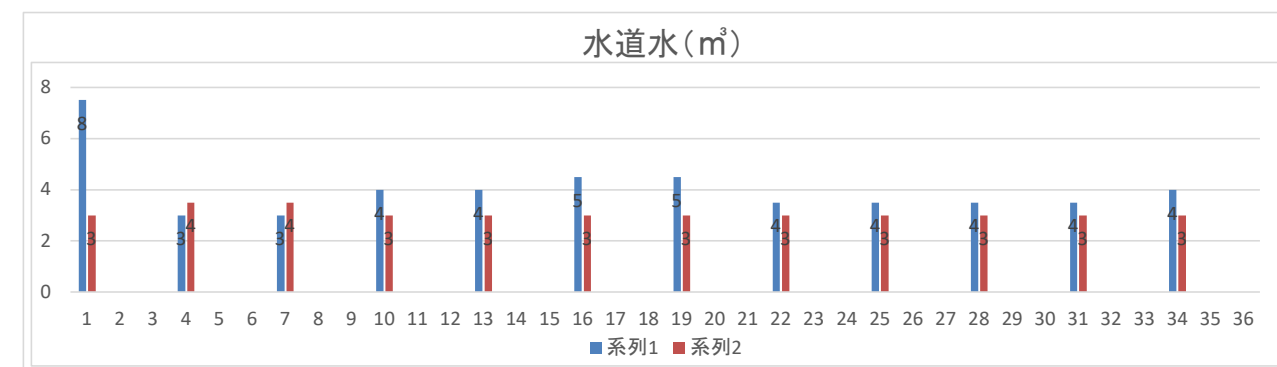
産業廃棄物(混合)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	排出が昨年を上回ってしまった。分別等により再資源化を図り目標を達成できた。引継き意識の高揚を図っていきたい。
・ 作業ミスによる廃棄量の削減		
・ 素材別ボックスの設置		
・ リサイクル業者の開拓		



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	0	0	1,500	1,000	0	0	0	0	2,210	2,210	0	0
2023年	0	0	0	780	0	1,872	0	0	390	0	0	2,080

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別の徹底、再資源化に取り組み、目標を達成できた。引継き意識の高揚を図っていきたい。
・ 分別の徹底		
・ 再資源化先の開拓		

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用数量は少ないが、節水の徹底を行う。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		
・節水弁取り付け		



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2022年	8	3	3	4	4	5	5	4	4	4	4	4
2023年	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3

化学物質適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	化学物質の使用はありませんでした。引続き確認を行っていきます。
・有害性物質の表示の徹底		
・代替物質の検討		

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年々より良いものが出来るので、メーカー等の提案を検討し採用していきたい。
・有害性の少ない資材の購入		
・省エネ性能の高い電気製品の購入		
・燃費のよい自動車の採用		
・事務用品グリーン購入比率向上		

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	公共事業、民間事業の区別なく環境に配慮した材料の提案はできた。提案の内容によっては、コスト的に採用されなかったが、ユーザーにとってより良いものを探しながら引続き 提案し採用にこぎつけた。杭ナビについては各現場で使用できた。
・環境に配慮して工法の提案		
・環境に配慮した製品の使用		

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	目 標 (方針に掲げた取り組み項目は必ず上げる) (負荷チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎を付けた項目) 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 8,919 Kwh 2022 年 3,844 kg-CO₂ 使用する二酸化炭素排出係数: 0.431 kg-CO₂/kWh 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 3,767 kg-CO₂ 8,741 Kwh 2025 年度目標 3,729 97%	- 不要証明の消灯 - 使用以外のIT関連機器の電源off - エアコンフィルタの定期清掃 【中期計画】 - 省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへの更新
	LPGによる二酸化炭素削減 基準年度実績 15 kg 2022 年 46 kg-CO₂ 使用する二酸化炭素排出係数: 3.00 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 45 kg-CO₂ 15 Kwh 2025 年度目標 45 97%	- 温度の管理 【中期計画】 - 省エネタイプへ交換の促進
	灯油による二酸化炭素削減 基準年度実績 2,634 l 2022 年 6,558 kg-CO₂ 使用する二酸化炭素排出係数: 2.49 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 6,427 kg-CO₂ 2,581 l 2025 年度目標 6,362 97%	- ファンヒーターの適切な温度設定 【中期計画】 - 生産工程の短縮 - 省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ - 屋根への遮熱塗料の塗装
	自動車燃料による二酸化炭素削減 基準年度実績 2022 年 ガソリン 8,027 l 軽油 29,627 l 83,666 kg-CO₂ 使用する二酸化炭素排出係数: ガソリン 2.32 軽油 2.58 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 81,992 kg-CO₂ 2025 年度目標 81,156 97%	- アイドリングストップ - 急発進・急停車を控える - 法定速度厳守 - タイヤ空気圧の適正管理 【中期計画】 - 更新時に低燃費車を選択

廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2022 年 126 kg 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 123 kg 2025 年度目標 122 97%	・ 分別の徹底 ・ 帳票見直しによる印刷物の削減 ・ 梱包材の再利用 【中期計画】 ペーパーレス化の推進
	産業廃棄物(混合)の削減 基準年度実績 2022 年 4,710 kg 2024 年度目標 基準年度日 98% 削減率 -1.00% 目標値 4,616 kg 2025 年度目標 4,569 97%	・ 作業ミスによる廃棄量の削減 ・ 素材別ボックスの設置 ・ リサイクル業者の開拓 【中期計画】 ・ 分別の推進
	建設副産物の再資源化効率の向上 基準年度実績 2022 年 100% 2024 年度目標 基準年度日 100% (基準実施率) 年度目標 100% 2025 年度目標 100%	・ 分別の徹底 ・ 再資源化先の開拓 【中期計画】 ・ 分別の推進
水使用量削減	水道水の削減 基準年度実績 2022 年 49 m3 2024 年度目標 基準年度日 96% 削減率 -2% 目標値 47 m3 2025 年度目標 46 94%	・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示 ・ 節水弁取付 【中期計画】 ・ 雨水利用による植木の水やり
化学物質削減	化学物質適正管理 2024 年度目標 2025 年度目標	・ 有害性物質の表示の徹底 ・ 代替物質の検討

グリーン購入	グリーン購入の推進	・ 有害性の少ない素材の購入 ・ 省エネ性能の高い電気製品の購入 ・ 燃費の良い自動車の採用 ・ 事務用品グリーン購入比率向上 ・ 【中期計画】 ・ 目標値の設定
環境に配慮した生産	環境に配慮した工事の推進	・ 工事の効率化 ・ 環境に配慮した工法の提案 ・ 環境に配慮した製品の使用

	課題を解決しチャンスを活かす取組	・ 技術の伝承 ・ 能力開発 ・ 働き方改革
--	------------------	--

年間活動計画 環境教育 一般教育 幹部教育 特別教育 緊急事態対応訓練 環境関連法規等遵守評価 代表者による全体の評価と見直し 環境環境レポート 審査申込 内部監査 会社周辺の清掃活動	環境方針・目標・活動計画の周知 環境目標・環境活動進捗状況確認・評価 資格取得・更新のため研修会参加 定期的実施(河川汚濁対応訓練6月) 遵守評価前に環境関連法規等の追加、改正を確認する 振り返って方針・目標・活動計画等を見直す 作成と地域事務局への送付 余裕をもって2か月前には申し込む
---	---

口環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、コンクリート破砕機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2023.6.20 7:30～10:30	■実施場所 中澤木材資材置場
■参加者： 職員全員	■実施内容： ・建設機械油類漏洩・油類漏洩事故対応、通報訓練
■評価： 手順の確認ができた、繰り返し行うことにより事故発生時に適切に対応できるようになると考えています。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 河川汚濁事故の発生	
■実施日： 2024.6.20 7:30～10:30	■実施場所 中澤木材資材置場
■参加者： 職員全員	■実施内容： ・河川汚濁事故対応、通報訓練
■評価： 手順の確認ができた、繰り返し行うことにより事故発生時に適切に対応できるようになると考えています。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月30日

【前回の指示への取組結果】

特になし。

＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 ・SDGsの活動を踏まえて見直しを行う。	➡	◇環境方針 ・SDGsの活動を踏まえて見直しを行う。
◇環境経営目標・計画の達成状況 ・総量と原単位を併記した目標を検討する。		◇環境経営目標・環境経営計画 ・達成できていないので単位について検討する。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等はありません。		◇実施体制他 ・特に変更はない。

それぞれの項目で概ね目標を達成できた。新年度からは一部見直しを行い、より現状に合った取組を進めていきたい。また、残業時間の短縮等は働き方改革に積極的に取り組んで行くことにより、CO2の削減も合わせて行なえるものと考えています。職員一人一人に目的意識を持ってもらうことが大切です。引続き朝礼等を通して繰り返し啓蒙を行い、環境改善に努めて行きたいと考えています。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



資材置場周辺清掃美化活動